

安全データシート

作成日 2026/02/10
改訂日

1. 化学品及び会社情報

製品名	耐水ペーパー 細幅ロールタイプ
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	一般金属・一般木工・プラスチック・セラミックス研磨
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する
整理番号	M260212

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性	発がん性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(肺) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肺) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H350 発がんのおそれ H370 肺の障害 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による肺の障害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
(P270)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
(P280)

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
(P308+P311)
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
(P314)

保管 廃棄

特別な処置が必要である。(P321)
施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
炭化けい素	10.0%	SiC	不明	不明	409-21-2
エポキシ樹脂	非公開	-	不明	不明	該当なし
木材パルプ(セルロース)	非公開	-	不明	不明	該当なし
合成樹脂	非公開	-	不明	不明	該当なし

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性

情報なし
燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な 保護具及び予防措置

関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

必要に応じた換気を確保する。
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
漏出したものを掃き集めて紙袋またはドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
保管	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	安全な保管条件	『10. 安定性及び反応性』を参照。 施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
炭化けい素	未設定	0.1繊維/ml	設定あり
	厚生労働大臣が定める濃度の基準		
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値	
炭化けい素	未設定	未設定	

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策		蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		固体
形状		固体
色		データなし
臭い		無臭
融点/凝固点		知見なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		点火性なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	下限	可燃限界データなし
	上限	可燃限界データなし
引火点		データなし
自然発火点		知見なし
分解温度		知見なし
pH		適用外
動粘性率		適用外

溶解度		水に対する溶解度：不溶 溶媒に対する溶解度データなし 知見なし
n-オクタノール／水分配係数		
蒸気圧		適用外
密度及び／又は相対密度		知見なし
相対ガス密度		適用外
粒子特性		適用外
その他のデータ		蒸気密度：適用外
10. 安定性及び反応性		
反応性		反応性データなし
化学的安定性		通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性		危険有害反応可能性データなし。
避けるべき条件		「第7章：取り扱い及び保管」を参照すること。
		粉じんの発生、拡散
混触危険物質		混触危険物質データなし。
危険有害な分解生成物		危険有害な分解生成物データなし。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性		
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		区分1Bの成分が10%のため、区分1Bとした。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく 露)		区分1(肺)の成分が10%のため、区分1(肺)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく 露)		区分1(肺)の成分が10%のため、区分1(肺)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし

オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関係法令並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

梱包容器は洗浄してリサイクルするか、関連法令並びに地方自治体の基

準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to MARPOL
73/78, Annex II, the
IBC Code

非該当

Not applicable

Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附属
書II 及びIBC コードによ
るばら積み輸送される
液体物質

非該当

消防法の規定に従う。

非該当

非該当

非該当

緊急時応急措置指針番号

航空規制情報

非該当

なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)

炭化けい素

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)

炭化けい素(安衛則別表第2の番号:1184)(1%-10%)
(営業秘密)

がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4号)

炭化けい素

労働安全衛生法(表示・通知
対象物質、がん原性物質)
(令和8年施行分)

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1
項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第
2)

炭化けい素

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第
1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条
の2別表第2)

炭化けい素(安衛則別表第2の番号:1184)(1%-10%)
(営業秘密)

がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月
26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4
号)

炭化けい素

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1
項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第
2)

労働安全衛生法(表示・通知
対象物質、がん原性物質)
(令和9年施行分)

炭化けい素

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第
1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条
の2別表第2)

炭化けい素(安衛則別表第2の番号:1184)(1%-10%)
(営業秘密)

がん原性物質(安衛則第577条の2第5項、令和4年12月
26日告示第371号、令和4年12月26日基発1226第4
号)

炭化けい素

非該当
第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表
第1)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進
法(PRTR法)

炭化けい素(管理番号:667)(10%)

優先評価化学物質(法第2条第5項)

非危険物

化審法

消防法

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の10項

輸出許可貨物・補完品目(キャッチオール規制)(法第48
条第1項、輸出令第1条別表第1の16の項(2))

16. その他の情報

連絡先

参考文献

項目1に記載

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝
達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート
(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

化学品ドキュメント管理プラットフォーム(CDPF) SDS作成シ
ステム「ChemValue.AUTHOR」により作成

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基
づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危
険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものでありま
す。

また、注意事項は通常の手扱を対象としたもので、特殊な手扱をする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。